

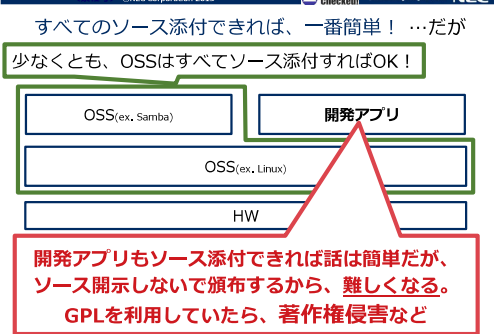
16 <禁複製> ©NEC Corporation 2019

自由ソフトウェアとは？ ほぼOSSと同じプログラムをさす、  
<https://www.gnu.org/philosophy/free-sw.ja.html>  
あるプログラムが自由ソフトウェアであるとは、  
そのプログラムの利用者が、以下の4つの必須の自由を有するときです

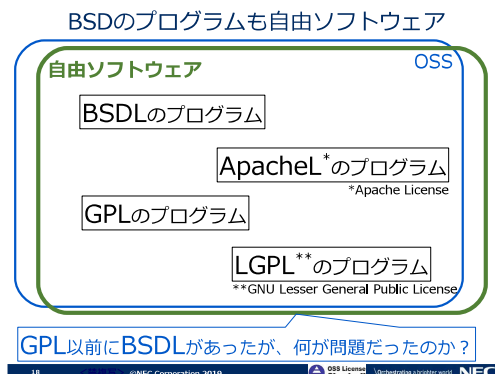
- 0.どんな目的に対しても、  
プログラムを望むままに**実行**する自由
- 1.プログラムがどのように動作しているか研究し、  
必要に応じて**改造**する自由
- 2. 身近な人を助けられるよう、コピーを**再頒布**する自由
- 3. **改変**した版を他に**頒布**する自由

BSDやApacheのプログラムにこれらの自由はないですか？

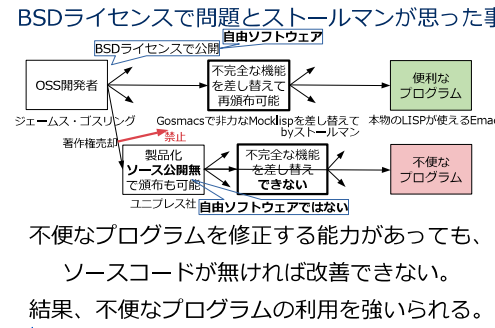
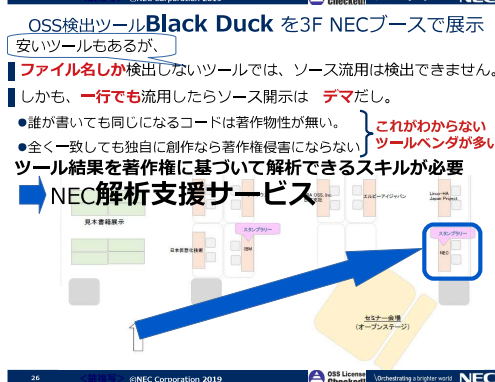
**コピーレフトの都市伝説**  
コピーレフトはコピーライトの逆の意味  
著作権に反対しているかと、著作権を逆手に取ったとか  
コピーレフトはコピーライトが残っているという意味  
そんなことGNUは言っていない  
コピーレフトの概念のライセンスへの適用状況に応じて  
コピーレフト型、準コピーレフト型、非コピーレフト型  
の3つに分類(IPAの報告書での分類)  
そんな適応基準のようなものは存在しない！



⇒納品物のソースコードからOSSを検出するツールで確認を

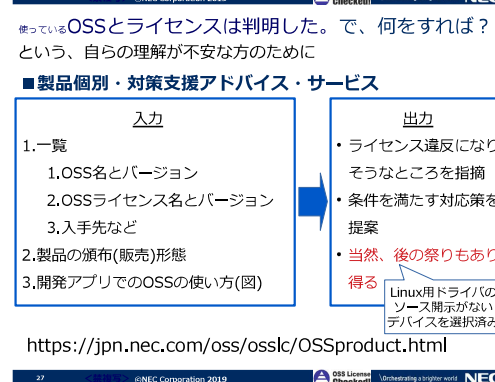


さて、  
こんなGPLの表現を見かけますよね…  
**改変するとソース公開の義務が発生する**とか  
正しくは、**改変にかかわらず、ソース開示が頒布の条件**  
あと、**GPLのライブラリをリンクすると  
アプリもGPLになるとか**  
これは？ (次ページで補足)



BSDでは再頒布の際に自由でなくなる事も

ウィキペディアのGPLのライブラリの説明  
[https://ja.wikipedia.org/wiki/GNU\\_General\\_Public\\_License](https://ja.wikipedia.org/wiki/GNU_General_Public_License)  
ライブラリ  
…、次のようないくつかの異なる見解が存在する。  
見解1: プロプライエタリ・ソフトウェアを  
動的リンク、静的リンクすることはGPLに違反する  
見解2: プロプライエタリ・ソフトウェアを  
静的リンクすることはGPLに違反するが、  
動的リンクに関しては不明瞭  
見解3: リンクは無関係である



<https://jpn.nec.com/oss/ossic/OSSproduct.html>

ソースが無くて改変できない事態を避けるために  
**再頒布の条件にソース開示の条件を加える**  
GNU Emacs General Public License

後にこの手法(method)の愛称を「コピーレフト」とした。  
GNU Emacs以外のプログラムでも使えるように汎用化  
GNU General Public License  
決して、**コピーレフトという概念があって、  
ソース開示も求めたわけではない！**  
「コピーレフトという概念が重要」と語られる内容には注意

難しい方に GNU GPLの理解を高める、お手伝いします  
■OSSライセンスと著作権法 講義(5H)  
第1章 OSSは一般に他人の著作物  
第2章 OSSライセンス違反とは  
第3章 著作権について  
第4章 OSSライセンスの概略  
第5章 GPL感染/伝播などの都市伝説について  
第6章 基本的な対策例  
補遺 GPL3について  
補遺2 体制例

著作物・著作権が  
どういうものが  
理解いただいてから  
著作権行使の  
ライセンス  
として見ると、  
何が記述されている  
のか理解できる

1回5名まで30万円、10名まで40万円、20名まで50万円  
御社の会議室に出向いて講義します。  
・基本5H(午前9時～12時、100ページ超のテキスト  
※ご希望により、少くく7Hで、急いで4Hも可能です。(費用変わらず)  
7H(午前9時～午後4時)後継/後継なし)

次回、2020年3月10日(火) NEC本社で実施。  
詳細は、<https://jpn.nec.com/oss/ossic/> 掲載PDF参照  
<https://jpn.nec.com/oss/ossic/OSSedu.html>

一人8万円の公開(公募)セミナーの開催も可能  
・他社と同席、補遺テキスト無し、短縮4.5H

OSSライセンスを正しく理解するための本 順次公開中  
第1章 OSSの初歩 5/27公開 根拠を示した解説  
第2章 OSSライセンスの概要 6/27公開  
第3章 OSSライセンスの都市伝説 11/5公開  
第4章 OSSを使ったビジネスで気をつけること  
第5章 トラブル回避のための基本的な施策案  
第6章 コンサル事例  
第7章 余談：著作権法とNEC創立の関係  
<https://jpn.nec.com/oss/ossic/article.html#article08>